

大垣西濃信金が
こいのぼり寄贈
垂井町の一斉遊泳

大垣西濃信用金庫
(大垣市)は6日、垂
井町の恒例行事である
こいのぼりの一斉遊泳
で使ってもらおうと、
イベントを主催する町
観光協会にこいのぼり
25匹を贈った。
一斉遊泳は1987
年から続き、寄付によ



るこいのぼりで実施。
毎年約350匹が町内
の相川上空を舞う。し

かし寄付の数は年々減
り、ここ数年は年間50
匹ほど。長期間にわた
って揚げるため、風雨
によって使えなくなる
物も毎年50匹程度とい
う。
庭の思い入れのある物
ばかり。気持ち良く泳
いでほしい」と話し、
中川満也町長は「協力
してもらえてありがた
い」と感謝した。

同協会から昨年、寄
付の依頼を受けた同信
金が職員に呼び掛けた
ところ、6人から使わ
なくなった物が集まっ
た。町役場を訪れた同
信金垂井支店の長屋秀
孝支店長(47)は「各家

こいのぼりをする中
川満也町長と長屋秀孝支
店長(右)ら＝垂井町役場